



IEEE International Symposium on Intelligent Signal Processing and Communication Systems 2017

NOVEMBER 6-9, 2017, XIAMEN, CHINA

IEEE International Symposium on Intelligent Signal Processing and Communication Systems 2017

参加報告書

2017.11.13

群馬大学大学院 電子情報・数理教育プログラム

小林研究室 高橋莉乃

基本情報

参加学会

IEEE International Symposium on Intelligent Signal Processing and Communication Systems 2017

開催地

Wanda Realm Xiamen North Bay Hotel, Xiamen, China

開催期間

2017.11.6-2017.11.9

旅程

- 11.6(Mon) 成田空港出国 厦門ホテル着
- 11.7(Tue) 学会 2 日目参加
- 11.8(Wed) 学会 3 日目参加 & Banquet
- 11.9(Thu) 学会 4 日目参加
- 11.10(Fri) 厦門・島 観光
- 11.11(Sat) 厦門ホテル発 帰国



学会に関して

発表論文

"SAR TDC Architecture for One-Shot Timing Measurement with Full Digital Implementation"

Yuki Ozawa, Takashi Ida, Shotaro Sakurai, Richen Jiang, Rino Takahashi, Haruo Kobayashi, Ryoji Shiota

発表日

2017. 11. 8 /Wed 14:30~ (15min talk + 5min Q&A)

報告

普段の研究と違う内容についての発表であったため準備の段階で大変なこともありましたが、同研究の仲間によく協力してもらいながら、なんとか発表まで無事に終わることが出来ました。また、私の参加したセッションの発表では同研究室の学生と連続して行われたのですが、座長の方が発表の前後に話しかけに来てくださり、温かい雰囲気がありたく思い、リラックスして発表を行うことができました。ですが、もう少し準備の段階で発表練習に時間を割ければプレゼンテーション自体上手くできたのではと感じました。質疑応答に関しては、多少聞き取れはしたものの、言葉や表現の引き出しがなく的確に返すことが出来なかったことを残念に思いました。また、周りの学生や他国の学生の発表を聞き、発表の方法、スライドの作り方等勉強になり自身の発表・周りの発表含めて大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。今回の経験を今後に活かしていきたいと感じています。



◀ ▼ 発表の様子（高橋）



▼ 学会会場での食事



やたら食べたドイツのソーセージ(美味しい) ▶

▼ Banquetの様子



▼ 発表会場がすごい。(発表前日の様子)



思い出



▲自由時間いきなりマクドナルドを購入し腹ごしらえをする女子陣

▼廈門到着！部屋が広い。



▲夕飯までの自由時間
「永結同心」の岩



▲学会のホテルの夕食



◀ スイーツがおいしい。ブルーベリーのケーキが特に。結構たくさん種類があって毎日とりすぎてしまう始末。



▲写真下に見えるのは確実にほろ酔い！



◀ 2日目自由時間に留学生のみなさんに連れて行ってもらった廈門の有名なお墓。おっきーな公園。



◀ 主催大学学生との交流！



▲ホラーすぎるあのキャラ。

◀バスに乗ってツアーへ



▼12本頼んだら6本ついてくる(謎)



▲jubeat(日本のゲーム)
「コインを入れてね」の文字が！

▲規模が大きすぎ！



◀▼ 観光日！きれい！



◀▲ きれい！きれい！きれい！！



とにかく日差しが強く暑い！暑すぎて麦わら帽子を購入。15元。▶

▼日光岩頂上での1枚



▼ピアノ博物館！

いろいろなデザイン・背景の
ピアノがたくさん。



▲山椒がすごい。そして美味しい。



◀お土産購入！！

きれいな街で大満足。

同期全員集結。仲良しか。▶



最後に

国際学会に参加して発表をするという本当に貴重な体験をさせていただき、異国の文化に触れ、人とふれあい、様々なものを見て感じて本当にたくさん勉強になったと感じています。自分自身海外に来るのは初めてで、英語さえもなかなか通じない中国の地で本当にすべてが新鮮で面白く、難しいこともたくさんでこれからしてみたいことも増え、すべてが有意義な時間であったと感じています。中国での観光や買い物では留学生のみなさんにたくさん助けていただき、今度は日本のどこかへ一緒に旅行に行ってみたく感じました。そんななか、留学生の助けを借りず、最終日に数人で行った茶器屋さんでは文明の利器を駆使しながらの店員さんとの会話で、本当に苦労しながらも商品を購入し、お茶を出していただき、最終的には写真をお願いして一緒に撮ることもできました。このような体験はチャレンジ精神旺盛な仲間との行動によって得たものであり、同期の学生を改めて尊敬する旅の一コマでもありました。

このような貴重で有意義な機会を与えてくださった小林先生、および発表にあたって補助・手伝いをしてくれた小澤君、同期の学生、そして旅行の助けを様々してくれた留学生のみなさん、学会参加を支援してくださった石川さん、そしてホテルへのタクシーの手配から様々な手続きまで多くを助けてくださった林海軍先生に心より感謝申し上げます。今後もより一層、研究に就活に力を入れて頑張っていきたいと思います。本当に充実した1週間でした。謝謝！！

